

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5801114号

(P5801114)

(45) 発行日 平成27年10月28日(2015.10.28)

(24) 登録日 平成27年9月4日(2015.9.4)

(51) Int.Cl.

F I

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

G 0 6 Q 30/02 1 5 0

G 0 9 F 19/00 (2006.01)

G 0 9 F 19/00 Z

請求項の数 3 (全 20 頁)

(21) 出願番号	特願2011-140947 (P2011-140947)	(73) 特許権者	511155567
(22) 出願日	平成23年6月24日(2011.6.24)		株式会社オブティマイザー
(65) 公開番号	特開2013-8233 (P2013-8233A)		東京都港区元赤坂一丁目1番7号 オリエ
(43) 公開日	平成25年1月10日(2013.1.10)		ント赤坂モートサイドビル2階
審査請求日	平成25年9月25日(2013.9.25)	(74) 代理人	100081271
前置審査			弁理士 吉田 芳春
		(72) 発明者	田川 周作
			東京都港区赤坂一丁目5番14号 株式会
			社オブティマイザー内
		審査官	長 由紀子
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 コンバージョントラッキングシステム、ネットワーク広告管理システム及びネットワーク広告効果測定システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの携帯通信端末と、携帯通信端末用のアプリケーションソフトを販売又は配信する少なくとも1つのアプリサービスサイトと、該少なくとも1つのアプリサービスサイトにリンクする情報が埋め込まれた広告を掲載している少なくとも1つの広告媒体サイトと、前記広告についての管理を行う管理サーバとがネットワークを介して互いに接続可能に構成されており、

前記管理サーバは、前記携帯通信端末が前記広告にアクセスした際に前記リンクする情報に従って該管理サーバを経由して前記アプリサービスサイトに接続する間に前記携帯通信端末に対してクッキー情報を送付するように構成されており、さらに、前記携帯通信端末が前記アプリサービスサイトから購入してインストールしたアプリケーションソフトの作動によって該アプリケーションソフトの広告に関する前記広告媒体サイトのトラッキングを行うように構成されており、

前記携帯通信端末は、前記アプリケーションソフトによってブラウザの前記管理サーバとの接続履歴の有無を判別するように構成されていると共に、該接続履歴が有る場合は、該アプリケーションソフトによって前記管理サーバへ接続するように構成されており、

前記管理サーバは、前記アプリケーションソフトによって前記携帯通信端末と接続された状態で、前記アプリケーションソフトによって、当該管理サーバ内のクッキー発行モジュールがクッキー情報を再度作成し該再度作成したクッキー情報を前記携帯通信端末へ送付するように構成されており、

前記携帯通信端末は、該送付されてきたクッキー情報を前記アプリケーションソフトによって用意されたクッキー領域に格納するように構成されており、

前記携帯通信端末は、前記アプリケーションソフトによって前記管理サーバと接続された状態で、前記アプリケーションソフトによって前記クッキー領域に格納されているクッキー情報を前記管理サーバへ送り返すように構成されており、

前記管理サーバは、該送り返されたクッキー情報に基づいて前記アプリケーションソフトの広告に関する前記広告媒体サイトのトラッキングを行うように構成されていることを特徴とするコンバージョントラッキングシステム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のコンバージョントラッキングシステムと、前記トラッキングによって特定された前記アプリケーションソフトの広告に関する前記広告媒体サイトのアフィリエイトの成果報酬を算出する成果報酬算出手段とを備えていることを特徴とするネットワーク広告管理システム。

10

【請求項 3】

請求項 1 に記載のコンバージョントラッキングシステムと、前記トラッキングによって特定された前記アプリケーションソフトの広告に関する費用対効果を表す指標を算出する広告効果測定手段とを備えていることを特徴とするネットワーク広告効果測定システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

20

本発明は、インターネットアクセス可能な携帯通信端末のユーザが、商用目的のウェブサイト上の成果報酬型広告に基づいてアプリケーションソフト（以下、アプリと称する）を購入したかどうかを追跡及び分析するコンバージョントラッキングシステム、このコンバージョントラッキングシステムを用いたネットワーク広告管理システム、及びこのコンバージョントラッキングシステムを用いたネットワーク広告効果測定システムに関する。

【背景技術】

【0002】

インターネット広告としては、広告媒体のウェブサイトには設置された広告に基づいて、このウェブサイトの閲覧者が広告主の商品又はサービス等を購入し、生じた利益に応じて、広告媒体に成果報酬を与える成果報酬型広告が普及している。これは、例えば、個人が開設するブログなどの広告媒体サイト内に掲載されている広告バナー等をクリックしたユーザが、インターネットでの購買や登録等の所定のアクションに至った場合、これを広告の成功とみなして報酬（広告料）の対象とするものである。

30

【0003】

コンバージョントラッキングシステムは、一般に、商用目的のウェブサイト上で獲得できる最終的な成果を追跡及び分析するシステムを称しており、この場合のコンバージョンは、ショッピングサイトであれば商品購入に、情報提供サイトやコミュニティサイトであれば会員登録等にそれぞれ対応している。このコンバージョントラッキングシステムは、アフィリエイトシステムの構築に利用されることが多く、特定ユーザのサイト内での行動を追跡及び分析して、どのルートを経由して商品購入や資料請求などの最終成果に結びついたのかを追跡することを可能とするものである。

40

【0004】

特許文献 1 には、複数の広告主サイトのサーバと、広告主サイトの商品を掲載する複数のアフィリエイトサイトのサーバと、それらのアフィリエイトサービスを提供するアフィリエイトサービス提供サーバとをインターネットを介して接続可能とし、アフィリエイトサービス提供サーバがアフィリエイトサイトのサーバの動的サイトページ構築をサポートし、ユーザがアフィリエイトサイト内の商品を選択して広告主サイトに誘導され商品購入を完了した時に、それをトラッキングして広告報酬額を集計するアフィリエイトサービス提供システムが開示されている。

【0005】

50

特許文献2には、端末ユーザが広告媒体サイトをクリックして広告主サイトにリダイレクトされた際に、その端末から取得される端末IDを広告媒体サイト及び広告主と関連づけて記録し、その端末ユーザが広告に係る指定商品を購入してその商品のパッケージや添付シールに印刷されている確認ページURLにアクセスして、そのURLと共に印刷されているユニークなシリアルIDを送信して来た場合に、このシリアルIDをその端末から取得される端末IDと関連づけて記録し、これら2つの記録を使って商品購入のきっかけとなった広告媒体サイトを特定するアフィリエイトトラッキングシステムが開示されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

10

【0006】

【特許文献1】特開2007-193613号公報

【特許文献2】特開2010-250752号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

特許文献1及び特許文献2に開示されているような従来のトラッキングシステムにおいては、ユーザ側の端末がパソコンや一般的な携帯電話等の通信端末であるため、広告主が運営する配信サービスサイトから商品の購入等が行われた際のトラッキングの開始指示は、システムに任意に設定することが可能であった。即ち、広告主は、商品購入のサンクスページ等を個人の責任でカスタマイズできるため、トラッキング開始を自由に設定して作動させることが可能であった。

20

【0008】

しかしながら、最近の携帯通信端末、例えばOSにアンドロイド（Android）（登録商標）を用いたスマートフォン等の携帯通信端末（以下、アンドロイド携帯通信端末と称する）においては、その端末用のアプリを購入してインストールする場合、アフィリエイトサイトへの誘導はブラウザにて行い、アプリの実際のダウンロード及びインストールはアンドロイドマーケット等の配信サービスサイトにて行われるため、トラッキングの開始指示をこの配信サービスサイトに設定することが難しく、トラッキングシステム構築が非常に難しかった。即ち、アンドロイド携帯通信端末のアプリ購入及びインストールを行う場合、配信サービスサイトは主にアンドロイドマーケットとなるが、このアンドロイドマーケットでは、世界中のアプリ製作者が自由に販売することができるため、アフィリエイト対象アプリのためだけにトラッキング開始指示等のプログラムを設定するように変更することは、非常に難しく現実的ではないためである。

30

【0009】

さらに、ほとんどのトラッキングソフトは、パソコン端末や携帯通信端末に記憶されているクッキーを利用して追跡を行う構成であるため、アンドロイド携帯通信端末のごとくブラウザに保存したクッキーをアプリが共有できない場合は、トラッキングが不可能であった。

【0010】

40

従って本発明の目的は、配信サービスサイト側の設定変更なく、トラッキング開始指示が可能なコンバージョントラッキングシステム、ネットワーク広告管理システム、及びネットワーク広告効果測定システムを提供することにある。

【0011】

本発明の他の目的は、ブラウザの保存したクッキーを利用できない場合にもトラッキングが可能なコンバージョントラッキングシステム、ネットワーク広告管理システム、及びネットワーク広告効果測定システムを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0012】

本発明によれば、少なくとも1つの携帯通信端末と、携帯通信端末用のアプリケーショ

50

ンソフトを販売又は配信する少なくとも1つのアプリサービスサイトと、少なくとも1つのアプリサービスサイトにリンクする情報が埋め込まれた広告を掲載している少なくとも1つの広告媒体サイトと、広告についての管理を行う管理サーバとがネットワークを介して互いに接続可能に構成されており、管理サーバは、携帯通信端末が広告にアクセスした際にリンクする情報に従ってこの管理サイトを経由してアプリサービスサイトに接続する間に携帯通信端末に対してクッキー情報を送付するように構成されており、さらに、携帯通信端末がアプリサービスサイトから購入してインストールしたアプリケーションソフトの作動によってアプリケーションソフトの広告に関する広告媒体サイトのトラッキングを行うように構成されているコンバージョントラッキングシステムが提供される。

【0013】

広告媒体サイトに掲載されたアプリケーションソフトの広告をユーザが携帯通信端末からクリックすることにより、その広告に関するアプリケーションソフトの広告主サイトであるアプリサービスサイトへ誘導される。ユーザがアプリサービスサイトからそのアプリケーションソフトを購入してインストールして起動すると、アプリケーションソフトの作動によってその広告に関する広告媒体サイトのトラッキングが行われる。このため、携帯通信端末のブラウザが保存しているクッキー情報をアプリケーションが利用できない場合（アンドロイド携帯通信端末のごとくブラウザに保存したクッキーをアプリが共有できない場合）にもアプリサービスサイトの設定を変更することなく、トラッキング開始が可能となる。その結果、このような種類の携帯通信端末の普及を大幅に推進することができるのみならず、アプリケーションソフトの製作者又は販売者にとって、広告及び宣伝方法の選択肢を大幅に増やすことができる。

【0014】

携帯通信端末は、アプリケーションソフトによってブラウザを起動して管理サーバへクッキー情報を送り返すように構成されており、管理サーバは、送り返されたクッキー情報に基づいてアプリケーションソフトの広告に関する広告媒体サイトのトラッキングを行うように構成されていることが好ましい。

【0015】

携帯通信端末は、アプリケーションソフトによってブラウザの接続履歴の有無を判別するように構成されていると共に、接続履歴が有る場合は、アプリケーションソフトの制御により管理サーバへ接続するように構成されており、管理サーバは、アプリケーションソフトの制御によりクッキー情報を再作成し、再作成したクッキー情報を携帯通信端末へ送付するように構成されており、携帯通信端末は、アプリケーションソフトの制御により、再作成したクッキー情報を管理サーバへ送り返すように構成されており、管理サーバは、送り返されたクッキー情報に基づいてアプリケーションソフトの広告に関する広告媒体サイトのトラッキングを行うように構成されていることが好ましい。

【0016】

管理サーバは、携帯通信端末がアプリサービスサイトから購入してインストールしたアプリケーションソフトを起動した後、トラッキングが未だ行われていない場合のみに、アプリケーションソフトの広告に関する広告媒体サイトのトラッキングを行うように構成されていることがより好ましい。トラッキングが未だ行われていないと判別された場合にのみトラッキングが行われるので、そのアプリケーションソフトについて1回のみのトラッキングが行われることとなり、正しい購入情報を獲得することができる。

【0017】

この場合、アプリケーションソフトは、このアプリケーションソフトの広告に関するトラッキングが未だ行われていないか否かを表す情報を備えていることがより好ましい。

【0018】

本発明によれば、さらに、上述したコンバージョントラッキングシステムと、トラッキングによって特定されたアプリケーションソフトの広告に関する広告媒体サイトのアフィリエイトの成果報酬を算出する成果報酬算出手段とを備えているネットワーク広告管理システムが提供される。

【0019】

本発明によれば、さらにまた、上述したコンバージョントラッキングシステムと、トラッキングによって特定されたアプリケーションソフトの広告に関する費用対効果を表す指標を算出する広告効果測定手段とを備えているネットワーク広告効果測定システムが提供される。これにより、携帯通信端末において、広告の効果測定を容易に行え、アプリケーションソフトの製作者又は販売者にとって、効果的な広告及び宣伝方法を容易に知ることができる。

【0020】

広告効果測定手段は、広告表示回数、広告クリック回数、及びアプリ購入数の少なくとも1つを読み出して及び集計することにより、指標を算出するように構成されていることが好ましい。

10

【0021】

本発明によれば、さらに、少なくとも1つの携帯通信端末と、携帯通信端末用のアプリケーションソフトを販売又は配信する少なくとも1つのアプリサービスサイトと、少なくとも1つのアプリサービスサイトにリンクする情報が埋め込まれた広告を掲載している少なくとも1つの広告媒体サイトと、広告についての管理を行う管理サーバとがネットワークを介して互いに接続可能に構成されており、管理サーバは、携帯通信端末が広告にアクセスした際にリンクする情報に従ってこの管理サイトを経由してアプリサービスサイトに接続する間に、携帯通信端末に対してクッキー情報を送付するように構成されており、携帯通信端末は、アプリサービスサイトから購入してインストールしたアプリケーションソフトを起動した後、トラッキングが未だ行われていない場合のみに、ブラウザを起動して管理サーバへクッキー情報を送り返すように構成されており、管理サーバは、送り返されたクッキー情報に基づいてアプリケーションソフトの広告に関する広告媒体サイトのトラッキングを行うように構成されているコンバージョントラッキングシステムが提供される。

20

【0022】

本発明によれば、さらにまた、少なくとも1つの携帯通信端末と、携帯通信端末用のアプリケーションソフトを販売又は配信する少なくとも1つのアプリサービスサイトと、少なくとも1つのアプリサービスサイトにリンクする情報が埋め込まれた広告を掲載している少なくとも1つの広告媒体サイトと、広告についての管理を行う管理サーバとがネットワークを介して互いに接続可能に構成されており、管理サーバは、携帯通信端末が広告にアクセスした際にリンクする情報に従ってこの管理サイトを経由してアプリサービスサイトに接続する間に、携帯通信端末に対してクッキー情報を送付するように構成されており、携帯通信端末は、アプリサービスサイトから購入してインストールしたアプリケーションソフトを起動した後、トラッキングが未だ行われていない場合のみに、ブラウザの接続履歴の有無を判別するように構成されていると共に、接続履歴が有る場合は、アプリケーションソフトの制御により管理サーバへ接続するように構成されており、管理サーバは、アプリケーションソフトの制御によりクッキー情報を再作成し、再作成したクッキー情報を携帯通信端末へ送付するように構成されており、携帯通信端末は、アプリケーションソフトの制御により、再作成したクッキー情報を管理サーバへ送り返すように構成されており、管理サーバは、送り返されたクッキー情報に基づいてアプリケーションソフトの広告に関する広告媒体サイトのトラッキングを行うように構成されているコンバージョントラッキングシステムが提供される。

30

40

【発明の効果】

【0023】

本発明によれば、携帯通信端末のブラウザが保存しているクッキー情報をアプリケーションが利用できない場合（アンドロイド携帯通信端末のごとくブラウザに保存したクッキーをアプリが共有できない場合）にもアプリサービスサイトの設定を変更することなく、トラッキング開始が可能となる。その結果、このような種類の携帯通信端末の普及を大幅に推進することができるのみならず、アプリケーションソフトの製作者又は販売者にとっ

50

て、広告及び宣伝方法の選択肢を大幅に増やすことができる。

【図面の簡単な説明】

【0024】

【図1】本発明の一実施形態として、ネットワーク広告管理システムの構成を概略的に示すブロック図である。

【図2】図1の実施形態において、ユーザがアンドロイド携帯通信端末を用いてアンドロイドアプリを購入するまでの処理の一例を示すフローチャートである。

【図3】図2の処理における各サイトの動作を説明する図である。

【図4】図1の実施形態において、ユーザがアプリを購入した後、アフィリエイトに成果報酬が支払われるまでの処理の一例を示すフローチャートである。

【図5】図4の処理における各サイトの動作を説明する図である。

【図6】図4の処理における各サイトの動作を説明する図である。

【図7】本発明の他の実施形態として、ネットワーク広告管理システムにおいて、ユーザがアプリを購入した後、アフィリエイトに成果報酬が支払われるまでの処理の一例を示すフローチャートである。

【図8】本発明のさらに他の実施形態として、ネットワーク広告効果測定システムの構成を概略的に示すブロック図である。

【図9】図8の実施形態において、広告効果測定処理の一例を示すフローチャートである。

。

【発明を実施するための形態】

【0025】

図1は本発明の一実施形態として、ネットワーク広告管理システムの構成を概略的に示すブロック図である。

【0026】

同図において、10はユーザが用いる例えばアンドロイドスマートフォン等のアンドロイド携帯通信端末、11はアフェリエイタが運営する広告媒体サイト（アフェリエイトサイト）、12はアンドロイド携帯通信端末用のアンドロイドアプリ（以下、単にアプリと称する）を販売又は配信する配信サービスサイトである、例えばアンドロイドマーケット等のアプリサービスサイト、13は広告についての代理及び管理を行う広告代理及び管理サーバ（アフェリエイトプログラムサービスプロバイダ、ASP）、14はこれら携帯通信端末10、広告媒体サイト11、アプリサービスサイト12並びに広告代理及び管理サーバ13を互いに接続可能とするネットワークであるインターネット、15はアプリサービスサイト12にてアプリを販売する広告主をそれぞれ示している。

【0027】

なお、図1には、単一のアンドロイド携帯通信端末10、単一の広告媒体サイト11、単一のアプリサービスサイト12及び単一の広告主15が表示されているが、実際には、複数のアンドロイド携帯通信端末、複数の広告媒体サイト、複数のアプリサービスサイト及び複数の広告主がインターネット14に接続されるように構成されていても良い。

【0028】

本実施形態のネットワーク広告管理システムによれば、広告媒体サイト11に掲載されたアプリ（商品）の広告をユーザがアンドロイド携帯通信端末10からクリックすることにより、その広告に関するアプリの広告主サイトであるアプリサービスサイト12へ誘導される。ユーザがアプリサービスサイト12からそのアプリを購入しインストールして起動した後、トラッキングが未だ行われていない（最初のトラッキングである）と判別された場合のみにトラッキングが開始されてその購入したアプリの広告の広告媒体サイト11が特定され、その広告媒体サイト11のアフィリエイトに所定の成果報酬が支払われる。

【0029】

広告媒体サイト11は、アンドロイドマーケットであるアプリサービスサイト12で販売するアプリの広告が掲載されたサイトページをアンドロイド携帯通信端末10に提供するよう構成されている。

【0030】

アプリサービスサイト12は、オンライン上でアプリの販売及び配信を行う商用サイトであり、公開され購入可能な種々のアプリ、それらの製作者又は販売者情報等を保持している。このアプリサービスサイト12は、アプリ販売者である広告主15が自由にアプリをアップロードし、販売することが出来る仕組みになっており、価格も自由に設定ができる仕組みとなっている。

【0031】

広告主15は、広告代理及び管理サーバ13と契約をしている、アプリの製作者又は販売者であり、広告代理及び管理サーバ13が配布するSDK（ソフトウェア開発キット）を使用して製作したアプリをアプリサービスサイト12にアップロードしてアプリの販売を行う。また、広告主15は、広告代理及び管理サーバ13を経由してアフィリエイトに対しての報酬支払いを行う。

10

【0032】

アンドロイド携帯通信端末10は、そのブラウザによりインターネット14を介して広告媒体サイト11にアクセスして、サイトページを閲覧表示できるように構成されている。表示されたサイトページ内の所望の広告をクリックすると、その広告表示箇所に埋め込まれているURLに基づいて、その広告のアプリを販売するアプリサービスサイト12に、広告代理及び管理サーバ13を介してアクセスするように構成されている。

【0033】

広告代理及び管理サーバ13は、広告媒体サイト11で掲載可能なアプリの商品データを格納する商品データベース部、広告主及び広告主プログラムの情報（広告主の報酬料率）を格納するプログラムデータベース部、並びにバナー広告の画像のURL等を格納する広告素材データベース部等を有するデータベース13aと、ユーザが広告媒体サイト11の広告を表示したときやその広告のアプリ等にアクセスしたときのログを集計し、ユーザがアプリサービスサイト12内でアプリの購入手続きを行いインストールして起動して、最初のトラッキングを行う時のみ（そのアプリについてトラッキングが未だ行われていないと判別された場合にのみ）、どの広告媒体サイトからアクセスしてきてどのアプリについて購入したかをトラッキングし、そのログを集計して広告報酬額を算出して報告するアフィリエイトサービスユニット13bとを備えている。

20

【0034】

アフィリエイトサービスユニット13bは、例えばインプレッションモジュール13b₁、アクセス集計モジュール13b₂、クッキー発行モジュール13b₃、リダイレクトモジュール13b₄、トラッキングモジュール13b₅及び報告モジュール13b₆を有しており、アンドロイド携帯通信端末10がアプリサービスサイト12からアプリを購入してインストールし、最初のトラッキングであると判別されたときに、アフィリエイトの報酬金額計算のためのトラッキング等を行う。

30

【0035】

インプレッションモジュール13b₁は、アンドロイド携帯通信端末10が広告媒体サイト11にアクセスした際にサイト内の広告を表示する回数（広告表示回数）を集計してデータベース13aに格納する。

40

【0036】

アクセス集計モジュール13b₂は、広告媒体サイト11内でアプリの広告をクリックした回数（広告クリック回数）と、クリックすることによりそのリンク情報によってアプリサービスサイト12からアプリを購入してインストールした回数（アプリ購入数）とを集計してデータベース13aに格納する。

【0037】

クッキー発行モジュール13b₃は、このアクセス時に広告・プログラム管理ID及び広告媒体サイトID（アフィリエイトID）等が含まれたクッキー情報を発行しアンドロイド携帯通信端末10のブラウザのキャッシュエリアにおけるクッキー領域10aに記憶させる。ここで、広告・プログラム管理IDは、広告テーブル及びプログラムテーブルを

50

管理するIDであり、これら広告テーブル及びプログラムテーブルを参照することにより、ユーザを後に認識するためのユニークID、広告媒体サイトID、広告代理及び管理サーバID、バナー広告ID、及びセッション開始日時（タイムスタンプ）等を知ることができる。

【0038】

このアクセス集計及びクッキー発行のためには、アンドロイド携帯通信端末10が広告媒体サイト11内で広告を選択してアプリサービスサイト12に接続するときアンドロイド携帯通信端末10をこの広告代理及び管理サーバ13を経由させる必要がある。そのため上述したリンク情報は、広告代理及び管理サーバ13のドメイン名を有している。これにより、アフィリエイトサービスユニット13bのリダイレクトモジュール13b₄がアンドロイド携帯通信端末10からのアクセスをアプリサービスサイト12のアプリのURLにリダイレクトする。その結果、アンドロイド携帯通信端末10は見かけ上は広告媒体サイト11からアプリサービスサイト12のアプリのURLに直接的にアクセスしたように処理される。

10

【0039】

トラッキングモジュール13b₅は、アンドロイド携帯通信端末10が購入しインストールしたアプリを起動して、最初のトラッキングを行う時のみ（そのアプリについてトラッキングが未だ行われていないと判別された場合にのみ）にアンドロイド携帯通信端末10からトラッキング開始指示を受け、さらにブラウザが、広告代理及び管理サーバ13を経由する際にクッキー領域10aからクッキー情報を取得し、広告代理及び管理サーバ13に対して送出することにより、クッキー情報内の広告・プログラム管理ID及び広告媒体サイトIDに基づいて購入ログをデータベース13aに記憶する。

20

【0040】

報告モジュール13b₆は、データベース13a内の報酬条件を参照してアフィリエイト報酬額を求めてデータベース13aに格納する。報酬額には、商品購入に伴う成果報酬額以外に、広告のクリック回数（広告クリック回数）に基づくアクセス報酬額、広告の実効的な表示回数（広告表示回数）に基づくインプレッション報酬額等を加算してもよい。

【0041】

次に、本実施形態において、ユーザがアンドロイド携帯通信端末10を用いてアプリサービスサイト12からアプリを購入するまでの処理動作について、具体的に説明する。図2はこの処理の一例を示すフローチャートであり、図3はこの処理における各サイトの動作を説明する図である。

30

【0042】

なお、図3に示すように、アプリ製作者又は販売者である広告主15は、自己の製作した又は販売するアプリ（商品）について、アプリサービスサイト12にアップロードして公開するように申請し、同時に広告代理及び管理サーバ13の管理画面にてそのアプリ（商品）情報を登録し広告を作成する。これにより、広告代理及び管理サーバ13のデータベース13aには、広告情報、商品情報、及び商品報酬情報等が互いに対応付けて格納される。

【0043】

広告情報は、アプリ製作者又は販売者情報（ID等）、バナー広告のイメージ又はそのイメージが存在するURL、その広告のリンク先URL、その広告がユーザによってクリックされたかどうかを表す広告クリック情報、並びにテキスト広告のテキスト及びリンク先URL等を含んでいる。商品情報は、アプリ製作者又は販売者情報（ID等）、商品が展示されているリンク先URLである商品URL、及び商品のイメージ又はそのイメージが存在するURL等を含んでいる。商品報酬情報は、各商品についての報酬条件（料率又は定額）、及び報酬実績等を含んでいる。

40

【0044】

広告媒体サイト11は、広告代理及び管理サーバ13に対して、自己のサイトページに掲載するに適したアプリ（商品）の広告の検索を要求し、広告代理及び管理サーバ13は

50

要求に対応するアプリ広告データ及びリンク情報を広告媒体サイト11へ提供する。これにより、広告媒体サイト11ではサイトページにリンク情報（広告代理及び管理サーバ13のURLを含む）が埋め込まれた広告バナーが掲載される。

【0045】

この状態で、アンドロイド携帯通信端末10のユーザがブラウザを利用して広告媒体サイト11へアクセスすると（図2のステップS1）、広告媒体サイト11のサイトページがアンドロイド携帯通信端末10のディスプレイに表示される（図2のステップS2）。ユーザがそのサイトページのうちの特定のアプリの広告バナーをクリックし、クリックがあったことが判別されると（図2のステップS3）、ブラウザは広告代理及び管理サーバ13に接続される（図2のステップS4）。 10

【0046】

広告代理及び管理サーバ13側においては、クリックされた広告バナーに関する広告クリック情報がデータベース13aに保存される（図2のステップS5）。
なお、アフィリエイトサービスユニット13bのインプレッションモジュール13b₁及びアクセス集計モジュール13b₂によって、広告表示回数、広告クリック回数、及びアプリ購入数等が集計されデータベース13aに格納される。

【0047】

次いで、アフィリエイトサービスユニット13bのクッキー発行モジュール13b₃によって、例えば、ユーザを後に認識するためのユニークID、広告媒体サイトID、広告代理及び管理サーバID、バナー広告ID、及びセッション開始日時（タイムスタンプ）等が参照できるクッキー情報が作成され（図2のステップS6）、このデータベース13aに保存されると共に、アンドロイド携帯通信端末10のブラウザにおけるクッキー領域に格納される（図2のステップS7）。なお、周知のように、このクッキー情報に含まれるユニークIDは、アンドロイド携帯通信端末10に対してのみ発行されるIDであるが、この端末自体の情報は有していない。 20

【0048】

一方、アフィリエイトサービスユニット13bのリダイレクトモジュール13b₄により、アンドロイド携帯通信端末10には、アプリサービスサイト12からのアプリの表示が行われる（図2のステップS8）。その表示されたアプリを購入する場合、ユーザはその購入ボタンをクリックする。クリックがなされた（購入した）と判別されると（図2のステップS9）、そのアプリがアプリサービスサイト12からアンドロイド携帯通信端末10に配信され（図2のステップS10）、アンドロイド携帯通信端末10はそのアプリのインストールを行って（図2のステップS11）、この処理は終了する。なお、購入を行わない場合も、この処理は終了する（図2のステップS9）。そのアプリについて購入を行ったかどうかの情報も、広告代理及び管理サーバ13のデータベース13aにそのアプリの他の情報と対応付けられて格納される。 30

【0049】

次に、本実施形態において、ユーザがアプリを購入した後、アフィリエイトに成果報酬が支払われるまでの処理動作について、具体的に説明する。図4はこの処理の一例を示すフローチャートであり、図5及び図6はこの処理における各サイトの動作を説明する図である。 40

【0050】

アンドロイド携帯通信端末10において、ユーザが購入したアプリを起動させると（図4のステップS11）、そのアプリについて未だトラッキングが行われていないかどうか（最初のトラッキングを行う場合であるかどうか）が判別される（図4のステップS12）。最初のアプリ起動ではなく、最初のトラッキングとしているのは、例えば最初の起動時に通信が行えず、インターネットに接続できない場合が起こり得るからである。通信できなかった場合には、次の起動時に以下の処理を行うこととなるため、最初のトラッキングを判別しているのである。なお、本実施形態において適用される全てのアプリには、アプリの制御により、未だトラッキングが行われていないのかどうかを判別可能なフラグ情 50

報が利用でき、アプリはそのフラグ情報を参照して最初のトラッキングがなされているかどうかを知ることができる。このようなフラグ情報は、アプリを開発する際に利用できるオブジェクトに組み込まれており、アプリの開発者はそのオブジェクトを自由を使用してプログラムを作成することができる。即ち、広告主15は、アプリを製作する際に、広告代理店及び管理サーバ13から配布されるSDK（ソフトウェア開発キット）を利用してこのアプリを製作する。これにより、本実施形態で行うようなトラッキングが実現できることとなる。

【0051】

トラッキングが既に行われていると判別した場合（NOの場合）は、処理動作を終了し、アプリの制御処理を続行する。一方、未だトラッキングが行われていないと判別した場合（YESの場合、即ち最初のトラッキングである場合）は、アプリからブラウザを起動する（図4のステップS13）。

10

【0052】

次いで、このブラウザによって、アンドロイド携帯通信端末10を広告代理及び管理サーバ13に接続し（図4のステップS14）、図5に示すように、ブラウザの保持するクッキー情報を広告代理及び管理サーバ13に送って、トラッキングを開始させる（図4のステップS15）。なお、この場合の処理は、ブラウザの機能を利用しており、クッキー情報送信はブラウザが自動的に行っているため、アプリ内部での処理として特に意識する必要がない。

【0053】

20

広告代理及び管理サーバ13においては、アフィリエイトサービスユニット13bのトラッキングモジュール13b₅が、広告バナーに関する広告情報をデータベース13aから読み出し（図4のステップS16）、受け取ったクッキー情報とそのデータベース13aから読出した広告情報とを照合し、クッキー情報のユーザ用ユニークIDとデータベース13aから読出した広告情報におけるユニークIDとが一致するかどうか判別される（図4のステップS17）。

【0054】

一致するIDがある場合は、アプリの購入又はインストール情報をこのデータベース13aにそのIDに対応させて格納する（図4のステップS18）。

【0055】

30

次いで、アフィリエイトサービスユニット13bの報告モジュール13b₆は、この購入されたアプリに関して、データベース13a内の報酬条件を参照してアフィリエイト報酬額を求め、図6に示すように、広告主15の承認を受ける（図4のステップS19）。さらに、図6に示すように、承認された場合は、その成果報酬をアプリの情報と対応させてデータベース13aに格納する。

【0056】

その後、広告主15は、広告媒体サイト11に成果報酬を支払う（図4のステップS20）。

【0057】

次いで、アンドロイド携帯通信端末10においては、ブラウザからアプリに制御が戻され（図4のステップS21）、アプリの処理が開始される。

40

【0058】

以上詳細に説明したように、本実施形態によれば、広告媒体サイト11に掲載されたアプリ（商品）の広告をユーザがアンドロイド携帯通信端末10からクリックすることにより、その広告に関するアプリの広告主サイトであるアプリサービスサイト12へ誘導される。これらのアプリには、そのアプリについてトラッキングが未だ行われていないかどうかを認識できる情報とブラウザを起動するプログラムとが組み込まれており、ユーザがアプリサービスサイト12からそのアプリを購入してインストールして起動して、最初のトラッキングを行う時のみ（そのアプリについてトラッキングが未だ行われていないと判別された場合にのみ）、ブラウザが起動され、ブラウザの保持するクッキー情報が広告代理

50

及び管理サーバ13へ送られ、トラッキングが開始されてその購入したアプリの広告の広告媒体サイト11が特定され、その広告媒体サイト11のアフィリエイトの成果報酬が算出されて、その成果報酬が支払われる。トラッキングが未だ行われていないと判別された場合にのみトラッキングが行われるので、そのアプリについて1回のみのトラッキングが行われることとなり、正しい購入情報を獲得することができる。また、アンドロイド携帯通信端末10のブラウザが保存しているクッキー情報をアプリが利用できない場合にもアプリサービスサイト12の設定を変更することなく、トラッキング開始が可能となる。その結果、アンドロイド携帯通信端末の普及を大幅に推進することができるのみならず、アンドロイドアプリの製作者又は販売者にとって、広告及び宣伝方法の選択肢を大幅に増やすことができる。

10

【0059】

図7は本発明の他の実施形態として、ネットワーク広告管理システムにおいて、ユーザがアプリを購入した後、アフィリエイトに成果報酬が支払われるまでの処理の一例を示すフローチャートである。

【0060】

本実施形態において、ネットワーク広告管理システムの構成、ユーザがアプリを購入するまでの処理動作は図1の実施形態の場合と同様であるため、説明を省略する。

【0061】

以下、本実施形態において、ユーザがアプリを購入した後、アフィリエイトに成果報酬が支払われるまでの処理動作について、図7を用いて具体的に説明する。

20

【0062】

アンドロイド携帯通信端末10において、ユーザが購入したアプリを起動させると(図7のステップS31)、そのアプリについて未だトラッキングが行われていないかどうか(最初のトラッキングを行う場合であるかどうか)が判別される(図7のステップS32)。なお、本実施形態において適用される全てのアプリには、アプリの制御により、未だトラッキングが行われていないのかどうかを判別可能なフラグ情報が利用でき、アプリはそのフラグ情報を参照して最初のトラッキングがなされているかどうかを知ることができる。このようなフラグ情報は、アプリを開発する際に利用できるオブジェクトに組み込まれており、アプリの開発者はそのオブジェクトを自由に使用してプログラムを作成することができる。即ち、広告主15は、アプリを製作する際に、広告代理店及び管理サーバ13から配布されるSDKを利用してこのアプリを製作する。これにより、本実施形態で行うようなトラッキングが実現できることとなる。

30

【0063】

トラッキングが既に行われていると判別した場合(YESの場合)は、処理動作を終了し、アプリの制御処理を続行する。一方、未だトラッキングが行われていないと判別した場合(YESの場合、即ち最初のトラッキングである場合)は、アプリの制御によってブラウザの履歴を取得する(図7のステップS33)。次いで、取得した接続履歴から広告代理及び管理サーバ13への接続履歴があるかどうか判別し(図7のステップS34)、接続履歴があると判別した場合は、アプリの制御によってアンドロイド携帯通信端末10を広告代理及び管理サーバ13に接続する(図7のステップS35)。なお、接続履歴がないと判別した場合は、この処理動作を終了する。

40

【0064】

広告代理及び管理サーバ13側においては、クリックされた広告バナーに関する広告クリック情報がデータベース13aに保存される(図7のステップS36)。なお、アフィリエイトサービスユニット13bのインプレッションモジュール及びアクセス集計モジュールによって、広告媒体サイト11内での広告の表示回数やアンドロイド携帯通信端末10によるアクセス回数等が集計されデータベース13aに格納される。

【0065】

次いで、アフィリエイトサービスユニット13bのクッキー発行モジュールによって、例えば、ユーザを後に認識するためのユニークID、広告媒体サイトID、広告代理及び

50

管理サーバID、バナー広告ID、及びセッション開始日時（タイムスタンプ）等を含むクッキー情報が再度作成され（図7のステップS37）、このデータベース13aに保存されると共に、アンドロイド携帯通信端末10のアプリによって用意されたクッキー領域に格納される（図7のステップS38）。なお、周知のように、このクッキー情報に含まれるユニークIDは、アンドロイド携帯通信端末10に対してのみ発行されるIDであるが、この端末自体の情報は有していない。

【0066】

アンドロイド携帯通信端末10のアプリは、次いで、このアンドロイド携帯通信端末10を広告代理及び管理サーバ13に接続する（図7のステップS39）。次いで、図5に示すように、アプリの保持するクッキー情報を広告代理及び管理サーバ13に送ってトラッキングを開始させる（図7のステップS40）。 10

【0067】

広告代理及び管理サーバ13においては、アフィリエイトサービスユニット13bのトラッキングモジュールが、広告バナーに関する広告情報をデータベース13aから読み出し（図7のステップS41）、受け取ったクッキー情報とそのデータベース13aから読出した広告情報とを照合し、クッキー情報のユーザ用ユニークIDとデータベース13aから読出した広告情報におけるユニークIDとが一致するかどうか判別される（図7のステップS42）。

【0068】

一致するIDがある場合は、アプリの購入又はインストール情報をこのデータベース13aにそのIDに対応させて格納する（図7のステップS43）。 20

【0069】

次いで、アフィリエイトサービスユニット13bの報告モジュールは、この購入されたアプリに関して、データベース13a内の報酬条件を参照してアフィリエイト報酬額を求め、図6に示すように、広告主15の承認を受ける（図7のステップS44）。さらに、図6に示すように、承認された場合は、その成果報酬をアプリの情報と対応させてデータベース13aに格納する。

【0070】

その後、広告主15は、広告媒体サイト11に成果報酬を支払う（図7のステップS45）。 30

【0071】

以上詳細に説明したように、本実施形態によれば、広告媒体サイト11に掲載されたアプリ（商品）の広告をユーザがアンドロイド携帯通信端末10からクリックすることにより、その広告に関するアプリの広告主サイトであるアプリサービスサイト12へ誘導される。これらのアプリには、そのアプリについてトラッキングが未だ行われていないかどうかを認識できる情報とアプリ自体でクッキー情報を取得するプログラムとが組み込まれており、ユーザがアプリサービスサイト12からそのアプリを購入してインストールして起動して、最初のトラッキングを行う時のみ（そのアプリについてトラッキングが未だ行われていないと判別された場合のみ）、アプリによって広告代理及び管理サーバ13において再度クッキー情報が作成され、このアプリが用意する領域に格納される。次いで、このアプリの保持するクッキー情報が広告代理及び管理サーバ13へ送られ、トラッキングが開始されてその購入したアプリの広告の広告媒体サイト11が特定され、その広告媒体サイト11のアフィリエイトの成果報酬が算出されて、その成果報酬が支払われる。トラッキングが未だ行われていないと判別された場合のみトラッキングが行われるので、そのアプリについて1回のみのトラッキングが行われることとなり、正しい購入情報を獲得することができる。また、アンドロイド携帯通信端末10のブラウザが保存しているクッキー情報をアプリが利用できない場合にもアプリサービスサイト12の設定を変更することなく、トラッキング開始が可能となる。その結果、アンドロイド携帯通信端末の普及を大幅に推進することができるのみならず、アンドロイドアプリの製作者又は販売者にとって、広告及び宣伝方法の選択肢を大幅に増やすことができる。 40 50

【0072】

図8は本発明のさらに他の実施形態として、ネットワーク広告効果測定システムの構成を概略的に示すブロック図である。

【0073】

同図において、10はユーザが用いる例えばアンドロイドスマートフォン等のアンドロイド携帯通信端末、11はアフィリエイトが運営する広告媒体サイト（アフィリエイトサイト）、12はアンドロイド携帯通信端末用のアプリを販売又は配信する配信サービスサイトである、例えばアンドロイドマーケット等のアプリサービスサイト、13は広告についての代理及び管理を行う広告代理及び管理サーバ（アフィリエイトプログラムサービスプロバイダ、ASP）、14はこれら携帯通信端末10、広告媒体サイト11、アプリサービスサイト12並びに広告代理及び管理サーバ13を互いに接続可能とするネットワークであるインターネット、15はアプリサービスサイト12にてアプリを販売する広告主をそれぞれ示している。

10

【0074】

なお、図8には、単一のアンドロイド携帯通信端末10、単一の広告媒体サイト11単一のアプリサービスサイト12及び単一の広告主15が表示されているが、実際には、複数のアンドロイド携帯通信端末、複数の広告媒体サイト、複数のアプリサービスサイト及び複数の広告主がインターネット14に接続されるように構成されていても良い。

【0075】

本実施形態のネットワーク広告効果測定システムによれば、広告媒体サイト11に掲載されたアプリ（商品）の広告をユーザがアンドロイド携帯通信端末10からクリックすることにより、その広告に関するアプリの広告主サイトであるアプリサービスサイト12へ誘導される。ユーザがアプリサービスサイト12からそのアプリを購入しインストールして起動した後、トラッキングが未だ行われていない（最初のトラッキングである）と判別された場合のみにトラッキングが開始されてその購入したアプリの広告の広告媒体サイト11が特定される。このようなコンバージョントラッキングが行われて、その広告媒体サイト11における各広告バナーの広告表示回数、広告クリック回数、及び実際に購入が発生した数を表す売上数（アプリ購入数）が集計され、広告の費用対効果を表す各種指標が算出される。

20

【0076】

広告媒体サイト11は、アンドロイドマーケットであるアプリサービスサイト12で販売するアプリの広告が掲載されたサイトページをアンドロイド携帯通信端末10に提供するように構成されている。

30

【0077】

アプリサービスサイト12は、オンライン上でアプリの販売及び配信を行う商用サイトであり、公開され購入可能な種々のアプリ、それらの製作者又は販売者情報等を保持している。このアプリサービスサイト12は、アプリ販売者である広告主15が自由にアプリをアップロードし、販売することが出来る仕組みになっており、価格も自由に設定ができる仕組みとなっている。

【0078】

広告主15は、広告代理及び管理サーバ13と契約をしている、アプリの製作者又は販売者であり、広告代理及び管理サーバ13が配布するSDKを使用して製作したアプリをアプリサービスサイト12にアップロードしてアプリの販売を行う。また、広告主15は、広告代理及び管理サーバ13を経由してアフィリエイトに対しての報酬支払いを行う。

40

【0079】

アンドロイド携帯通信端末10は、そのブラウザによりインターネット14を介して広告媒体サイト11にアクセスして、サイトページを閲覧表示できるように構成されている。表示されたサイトページ内の所望の広告をクリックすると、その広告表示箇所に埋め込まれているURLに基づいて、その広告のアプリを販売するアプリサービスサイト12に、広告代理及び管理サーバ13を介してアクセスするように構成されている。

50

【0080】

広告代理及び管理サーバ13は、広告媒体サイト11で掲載可能なアプリの商品データを格納する商品データベース部、広告主及び広告主プログラムの情報（広告主の報酬料率）を格納するプログラムデータベース部、並びにバナー広告の画像のURL等を格納する広告素材データベース部等を有するデータベース13aと、ユーザが広告媒体サイト11の広告を表示したときやその広告のアプリ等にアクセスしたときのログを集計し、ユーザがアプリサービスサイト12内でアプリの購入手続きを行いインストールして起動して、最初のトラッキングを行う時のみ（そのアプリについてトラッキングが未だ行われていないと判別された場合にのみ）、どの広告媒体サイトからアクセスしてきてどのアプリについて購入したかをトラッキングし、そのログを集計して広告報酬額を算出して報告するアフィリエイトサービスユニット13bと、広告効果測定ユニット13cとを備えている。

10

【0081】

アフィリエイトサービスユニット13bは、例えばインプレッションモジュール13b₁、アクセス集計モジュール13b₂、クッキー発行モジュール13b₃、リダイレクトモジュール13b₄、トラッキングモジュール13b₅及び報告モジュール13b₆を有しており、アンドロイド携帯通信端末10がアプリサービスサイト12からアプリを購入してインストールし、最初のトラッキングであると判別されたときに、アフィリエイトの報酬金額計算のためのトラッキング等を行う。

【0082】

インプレッションモジュール13b₁は、アンドロイド携帯通信端末10が広告媒体サイト11にアクセスした際にサイト内の広告を表示する回数（広告表示回数）を集計してデータベース13aに格納する。

20

【0083】

アクセス集計モジュール13b₂は、広告媒体サイト11内でアプリの広告をクリックした回数（広告クリック回数）と、クリックすることによりそのリンク情報によってアプリサービスサイト12からアプリを購入してインストールした回数（アプリ購入数）とを集計してデータベース13aに格納する。

【0084】

クッキー発行モジュール13b₃は、このアクセス時に広告・プログラム管理ID及び広告媒体サイトID（アフィリエイトID）等が含まれたクッキー情報を発行しアンドロイド携帯通信端末10のブラウザのキャッシュエリアにおけるクッキー領域10aに記憶させる。ここで、広告・プログラム管理IDは、広告テーブル及びプログラムテーブルを管理するIDであり、これら広告テーブル及びプログラムテーブルを参照することにより、ユーザを後に認識するためのユニークID、広告媒体サイトID、広告代理及び管理サーバID、バナー広告ID、及びセッション開始日時（タイムスタンプ）等を知ることができる。

30

【0085】

このアクセス集計及びクッキー発行のためには、アンドロイド携帯通信端末10が広告媒体サイト11内で広告を選択してアプリサービスサイト12に接続するときにアンドロイド携帯通信端末10をこの広告代理及び管理サーバ13を経由させる必要がある。そのため上述したリンク情報は、広告代理及び管理サーバ13のドメイン名を有している。これにより、アフィリエイトサービスユニット13bのリダイレクトモジュール13b₄がアンドロイド携帯通信端末10からのアクセスをアプリサービスサイト12のアプリのURLにリダイレクトする。その結果、アンドロイド携帯通信端末10は見かけ上は広告媒体サイト11からアプリサービスサイト12のアプリのURLに直接的にアクセスしたように処理される。

40

【0086】

トラッキングモジュール13b₅は、アンドロイド携帯通信端末10が購入しインストールしたアプリを起動して、最初のトラッキングを行う時のみ（そのアプリについてトラッキングが未だ行われていないと判別された場合にのみ）にアンドロイド携帯通信端末1

50

0 からトラッキング開始指示を受け、さらにブラウザが、広告代理及び管理サーバ 13 を経由する際にクッキー領域 10 a からクッキー情報を取得し、広告代理及び管理サーバ 13 に対して送出することにより、クッキー情報内の広告・プログラム管理 ID 及び広告媒体サイト ID に基づいて購入ログをデータベース 13 a に記憶する。

【0087】

報告モジュール 13 b₆ は、データベース 13 a 内の報酬条件を参照してアフィリエイト報酬額を求めてデータベース 13 a に格納する。報酬額には、商品購入に伴う成果報酬額以外に、広告のクリック回数（広告クリック回数）に基づくアクセス報酬額、広告の実効的な表示回数（広告表示回数）に基づくインプレッション報酬額等を加算してもよい。

【0088】

広告効果測定ユニット 13 c は、広告表示回数、広告クリック回数、及びアプリ購入数等を読み出し及び集計することにより、各バナー広告の費用対効果を表すための各種指標を算出する。この指標としては、例えば、（広告クリック回数）／（広告表示回数）で求められるクリック率 CTR（クリックスルーレート）、及び（アプリ購入数）／（広告表示回数）で求められるコンバージョン率 CVR（コンバージョンレート）等がある。広告効果測定ユニット 13 c は、各広告バナー毎にこれら指標を算出する。

【0089】

本実施形態において、ユーザがアプリを購入するまでの処理動作は図 1 の実施形態の場合と同様であり、また、ユーザがアプリを購入した後、アフィリエイトに成果報酬が支払われるまでの処理動作も図 1 又は図 7 の実施形態の場合と同様であるため、説明を省略する。

【0090】

図 9 は本実施形態における広告効果測定処理の一例を示すフローチャートである。

【0091】

以下、本実施形態の広告効果測定処理動作について、この図 9 を用いて具体的に説明する。

【0092】

図 4 又は図 7 の処理動作が終了した後、広告代理及び管理サーバ 13 の広告効果測定ユニット 13 c は、データベース 13 a から、特定の日付の特定の広告バナーについて、集計されている広告表示回数、広告クリック回数及びアプリ購入数を読み出す（図 9 のステップ S 51）。

【0093】

これらの数値から、各広告バナーについて各日付毎の費用対効果の指標を算出する（図 9 のステップ S 52）。この算出は、クリック率 CTR = （広告クリック回数）／（広告表示回数）、及びコンバージョン率 CVR = （アプリ購入数）／（広告表示回数）から行われる。

【0094】

次いで、このように求めた費用対効果の指標をその広告バナーについての成果報酬額と共に出力する（図 9 のステップ S 53）。

【0095】

以上詳細に説明したように、本実施形態によれば、広告媒体サイト 11 に掲載されたアプリ（商品）の広告をユーザがアンドロイド携帯通信端末 10 からクリックすることにより、その広告に関するアプリの広告主サイトであるアプリサービスサイト 12 へ誘導される。これらのアプリには、そのアプリについてトラッキングが未だ行われていないかどうかを認識できる情報とブラウザを起動するプログラム又はアプリ自体でクッキー情報を取得するプログラムとが組み込まれており、ユーザがアプリサービスサイト 12 からそのアプリを購入してインストールして起動して、最初のトラッキングを行う時のみ（そのアプリについてトラッキングが未だ行われていないと判別された場合にのみ）、ブラウザが起動され、ブラウザの保持するクッキー情報が広告代理及び管理サーバ 13 へ送られ、トラッキングが開始されてその購入したアプリの広告の広告媒体サイト 11 が特定されるか、

10

20

30

40

50

又はアプリによって広告代理及び管理サーバ13において再度クッキー情報が作成され、このアプリが用意する領域に格納され、このアプリの保持するクッキー情報が広告代理及び管理サーバ13へ送られ、トラッキングが開始されてその購入したアプリの広告の広告媒体サイト11が特定される。次いで、その広告媒体サイト11のアフィリエイトの成果報酬が算出されて、その成果報酬が支払われる。その後、広告の効果として、費用対効果の指標が算出されて出力される。トラッキングが未だ行われていないと判別された場合にのみトラッキングが行われるので、そのアプリについて1回のみのトラッキングが行われることとなり、正しい購入情報を獲得することができる。また、本実施形態では、アンドロイド携帯通信端末10のブラウザが保存しているクッキー情報をアプリが利用できない場合にもアプリサービスサイト12の設定を変更することなく、トラッキング開始が可能となるので、アンドロイド携帯通信端末において、広告の効果測定を容易に行え、アンドロイドアプリの製作者又は販売者にとって、効果的な広告及び宣伝方法を容易に知ることができる。

10

【0096】

以上述べた実施形態は全て本発明を例示的に示すものであって限定的に示すものではなく、本発明は他の種々の変形態様及び変更態様で実施することができる。従って本発明の範囲は特許請求の範囲及びその均等範囲によってのみ規定されるものである。

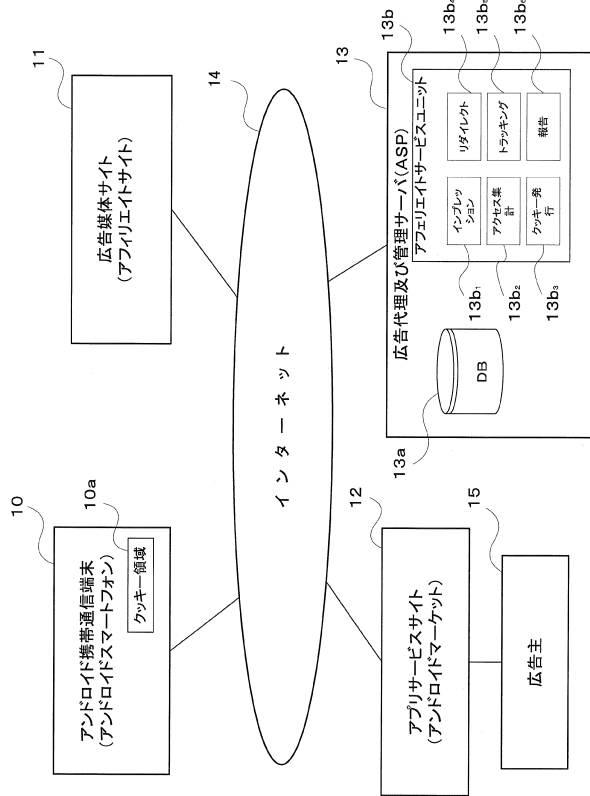
【符号の説明】**【0097】**

- 10 アンドロイド携帯通信端末
- 10a クッキー領域
- 11 広告媒体サイト
- 12 アプリサービスサイト
- 13 広告代理及び管理サーバ
- 13a データベース
- 13b アフィリエイトサービスユニット
- 13b₁ インプレッションモジュール
- 13b₂ アクセス集計モジュール
- 13b₃ クッキー発行モジュール
- 13b₄ リダイレクトモジュール
- 13b₅ トラッキングモジュール
- 13b₆ 報告モジュール
- 14 インターネット
- 15 広告主

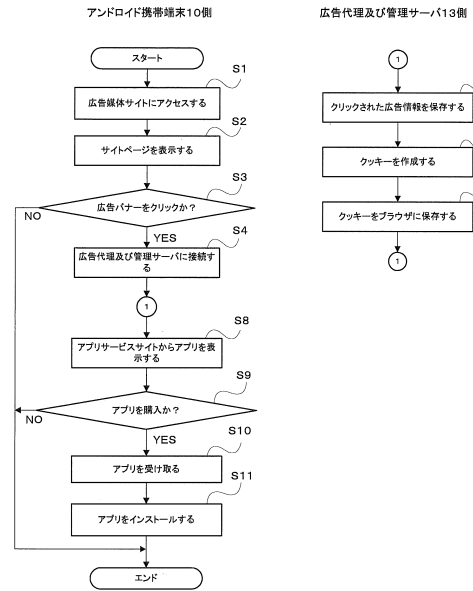
20

30

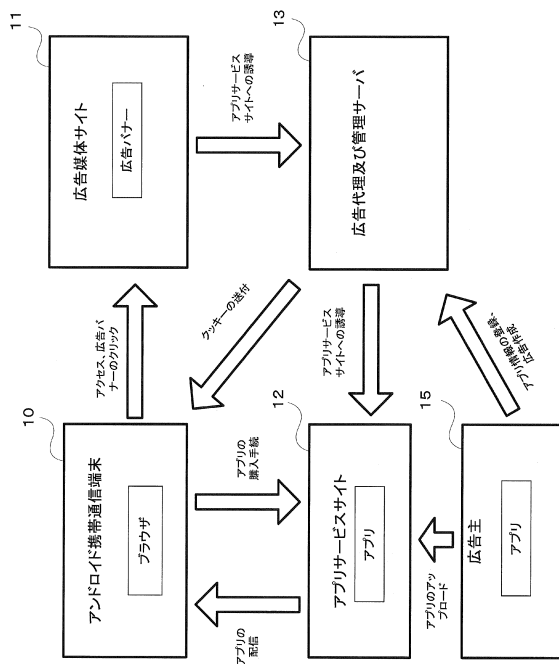
【図 1】



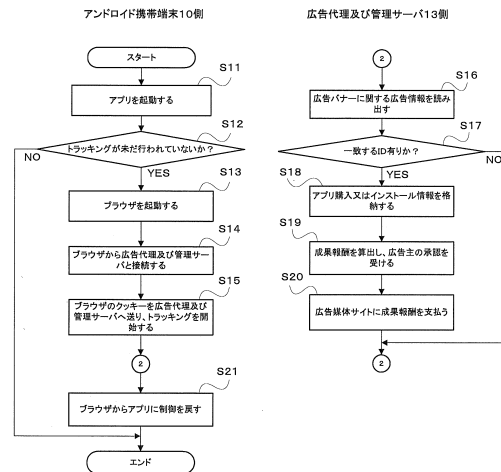
【図 2】



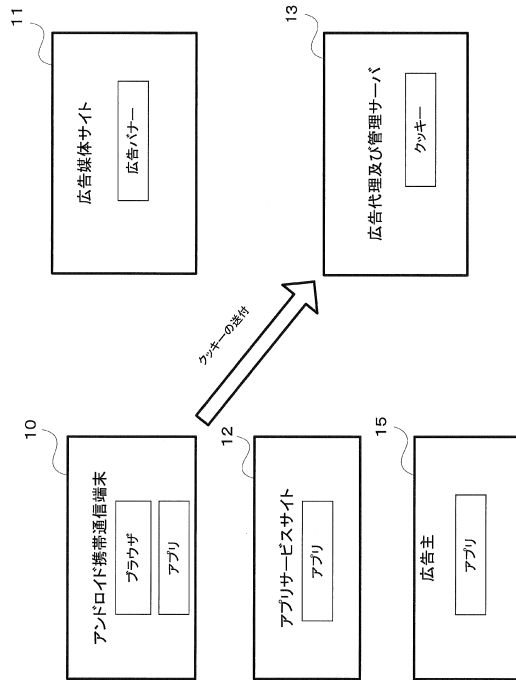
【図 3】



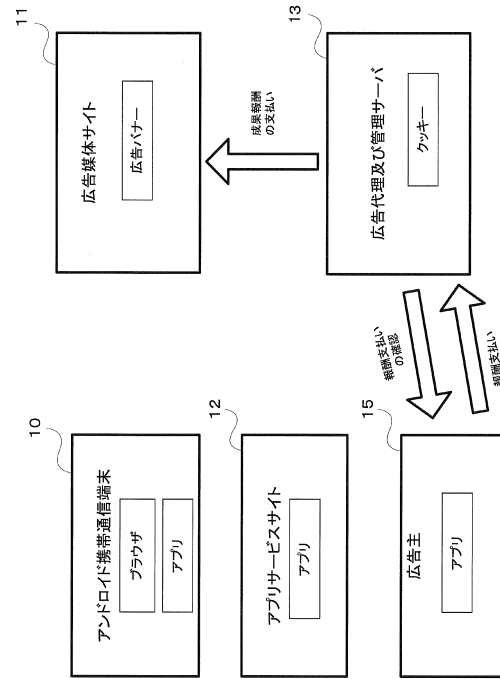
【図 4】



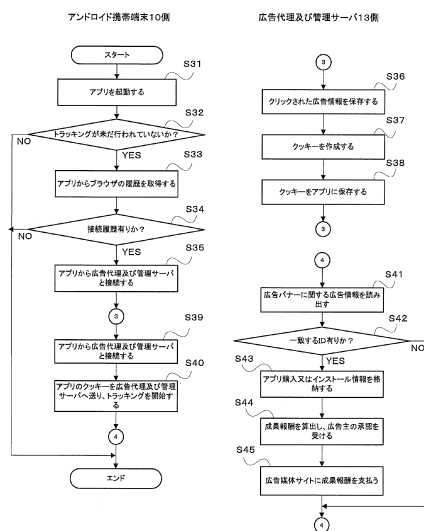
【図 5】



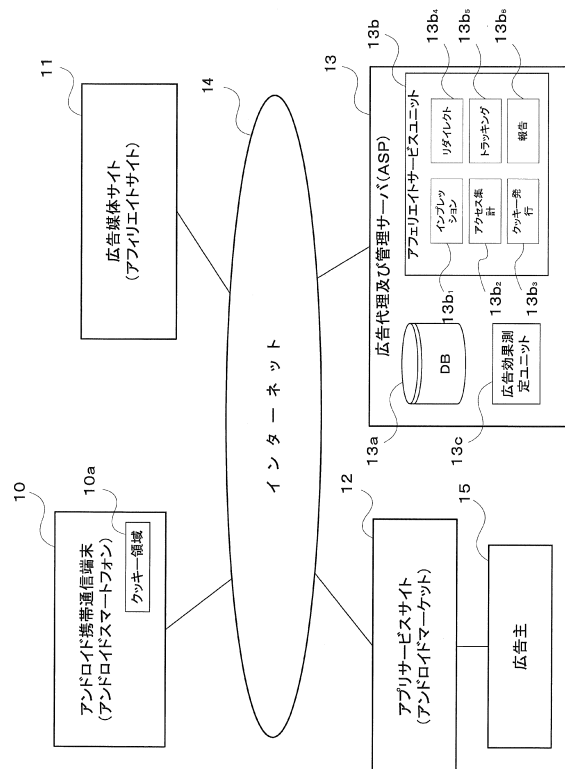
【図 6】



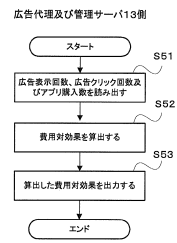
【图 7】



【图 8】



【図 9】



フロントページの続き

(56)参考文献 国際公開第2012/146932 (WO, A1)
特開2002-117318 (JP, A)
特開2008-123027 (JP, A)
国際公開第2009/052531 (WO, A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
G06Q 30/00
G06Q 50/00
G09F 19/00